

健康経営で人材確保

健康経営の健康サポートについて知った齋藤社長は、セミナーなどで知見を深め、健康経営の

ドライバーに大きな病気が続いた

イベントや建築関連の資料を運ぶサイショウ・エクスプレス(株)齋藤敦士社長は、東京都36名は2017年に健康経営をスタートし、2019年から5年連続で健康経営優良法人に認定。2021年からは3年連続で「プライム500」に認定されている。



齋藤社長



全車両を禁煙に

取り組みを始めた。血圧計の設置やウォーキング活動など、なるべくお金をかけない方法を模索したが、あまり効果がみられず半年ほど

健康経営を始めた。血圧計の設置やウォーキング活動など、なるべくお金をかけない方法を模索したが、あまり効果がみられず半年ほど

応募者の9割 志望動機に健康経営

東京・サイショウ・エクスプレス

で隙を感じた。そこで保険会社の担当者から健康管理士を紹介してもらい、現在、健康管理士と産業医を含めたチームで従業員の心身の健康をサポートしている。健康管理士との個人面談を年に1回以上実施し、専門による健康講習会も実施している。健康診断の受診率は当初6割ほどだったが、声掛けを続けて100%に引き上げた。受診データから従業員の健康課題を洗い出すと、高血圧、脂質異常症、高コレステロール血症、糖尿病、腰痛などが多く見つかった。ドライバーは大きな駐車場のあるコンビニや飲食店に行くことが多いが、栄養が偏りがちなことから、管理栄養士による「コンビニ食の選り方」講習会を実施。また、「歯の健康講習会や、禁煙専門家の講習会も行っている。

2018年に全車両を禁煙

禁煙対策にも力を入れ、2018年に全車両を禁煙にしたが、敷地外で喫煙してしまうため、受動喫煙を防ぐ効果のある加熱式たばこの専用喫煙スペースを設けた。今年からは、休憩時間を除く就業時間は禁煙とした。

会社・仕事の魅力
健康な会社づくりで、クワンと躍進を遂げています
ついつい口を出しちゃら、そんなお節介な会社です！
「健康経営優良法人」だからその取り組みが進んでいます。例えば、再検査といった健康診断のアフターフォローが充実。病気のタネを取り除くことで、万が一を防いできました。また、産業界からのきめ細やかなアドバイスも好評。「そこまでできる(笑)」というくらいお節介な社風が、結果的にみんなの健康を支えています。
老後の不安もナッシング、再雇用で守る、定年後の人生！
人生100年時代——。定年後に何かがあるか分からないし、専念だけで心配になりますよね？でも、再雇用制度がきちんとしてある当社なら大丈夫。アルバイトとして働けるので、ゆとりをもって働けるでしょう。さらに、勤務中でも病院に行くことができたり、残業などができたりと、老後の不安はありません。定年までの人生を守る、そしてその先の人生も守る、それが当社のモットーです。
近距離通勤と再配達なし、満足度を大切にしています！
お断り死はいつか企業なので、再配達といった面倒なことはありません。もちろん、通勤距離が遠いので、ゆとりをもって働けるでしょう。さらに、勤務中でも病院に行くことができたり、残業などができたりと、老後の不安はありません。定年までの人生を守る、そしてその先の人生も守る、それが当社のモットーです。
サイショウ・エクスプレスの求人広告より

サイショウエクスプレスについて齋藤社長は、「健診結果から従業員の歩数が少ないことがわかり、コロナ禍で体重やストレス値が高くなっていったので、運動でストレス解消や体重を落とせる仕組みがあれば面白いと思って取り組んだ」と話す。同社では2018年以降、再検査受診率100%を維持している。再検査の対象者は6割から3割に下がり、治療

が必要なおも通院しながらコントロールできているので、倒れて入院することは少ない。
人手不足のなか新しい人材を確保
健康経営を始めて



5分間の「サイショウエクスプレス」を考案

10月再配達は11.1% 前年同月から0.7%改善

国土交通省は、4月と10月に年2回再配達率調査の結果を発表した。10月1日から31日にかけての調査では、再配達率は11.1%となり、前回の4月調査(11.4%)から0.3%減した。地域別で見ても、都市部では前回調査比0.5%減の12.1%、都市近郊部では同0.2%減の10.7%、地方では0.4%減の9.2%だった。物流革新に向けた政策パッケージでは、2024年度に再配達率6%を目指すとしている。

3年ほどで9割以上の従業員の賛同を得られるようになった。齋藤社長は、「健康経営の最大の強みは、物流業界全体が人手不足のなか新しい人材を確保できること。2022年は7名採用した。2023年は40名の応募があり、前年同様7名採用したが、採用広告費は前年と比べて半減した。応募者の9割以上が志望動機に健康経営を挙げている」と話している。